

世界最高級の探検客船『オーシャン・エクスプローラー』で航く
大自然と野生生物に感動

南極クルーズ 15日間

地球最期の秘境・南極を訪れませんか。

壮大な大自然、躍動する動物たち、そこには太古の大自然が息づいています。

静寂の中、海に浮かぶ青く輝く冰山。耳を澄ませば、太古の音が聞こえてきそうです。

南極滞在中は南極大陸への上陸、ゾディアックボートを駆使したクルージングなど、迫力の観光がお楽しみいただけます。

さあ、冒険しよう。未だ見ぬ南極へ。

東京出発～帰着まで
添乗員同行

南極大陸
上陸

白銀世界に棲む
野生動物との出会い

◆旅行期間

2025年12月07日(月)～12月21日(月) <15日間>

◆旅行代金 2名1室利用/大人お一人様:トリプル～オーナーズ・スイート

3,780,000円～6,480,000円

耐氷船『オーシャン・エクスプローラー』で航く 南極探検クルーズ15日間



- **利用客船**：耐氷船「オーシャン・エクスプローラー」
- **添乗員**：東京(成田or羽田)出発から帰着まで全行程同行します。
- **食事条件**：朝食11回、昼食8回、夕食9回(機内食は除く)
- **航空会社**：エミレーツ航空、アルゼンチン航空(いずれもエコノミークラス利用)
- **宿泊ホテル**：ブエノスアイレス / 725コンチネンタルホテル、NHシティブエノスアイレス、NHラティノーホテル
：ウシュアイア / アルバトロス、ラスレンガス、カナルビーグル、ラスハヤス

● 最少催行人員：4名

旅行代金(お一人様)

※()内は一人部屋追加代金

利用客船	オーシャン・エクスプローラー	
旅行開始日	12月07日(月)	
旅行終了日	12月21日(月)	
期間	15日間	
客室タイプ	トリプルスイート	3,780,000円
	ベランダスイート	4,380,000円 (2,100,000円)
	パントハウススイート	5,380,000円
	オーナーズスイート	5,840,000円
ビジネスクラス利用追加代金 (東京=ブエノスアイレス間)	お問い合わせください	

- 団体航空運賃(エコノミークラス)は旅行代金に含まれています。
- 航空機のビジネスクラス利用は、東京=ブエノスアイレス間のみです。ブエノスアイレス=ウシュアイア間はエコノミークラス利用となります。
- 以下の代金は旅行代金に含まれておりません。
 - ・燃油サーチャージ(目安)：83,060円(2026年2月現在)
 - ・税金等：25,860円
 - ・船内チップ(目安)：1日あたり25ドル ※船内に清算
- ご旅行代金の残金は、**出発5カ月前まで**にお支払いいただけます。
※国際線の発着時間により、日本国内乗継ができない場合があります。前泊/後泊が必要となった場合、その宿泊代金はお客様負担となります。

海外旅行保険ご加入のご案内

南極探検クルーズは、人間の住んでいない遠隔地を訪れます。病気や怪我で、緊急に治療が必要になった場合、南極から高度な医療設備の整った病院へ搬送するために飛行機のチャーター代などで莫大な費用が発生します。この旅行にご参加いただくお客様は、海外旅行保険(治療・救援費用、傷害死亡を含む3千万円以上のセットタイプ)への加入が参加条件となります。尚、クレジットカード付帯の海外旅行保険では、ご旅行をお引き受けできません。予めご理解ご了承ください。

旅行開始日~終了日

2026年12月07日(月)~12月21日(月)

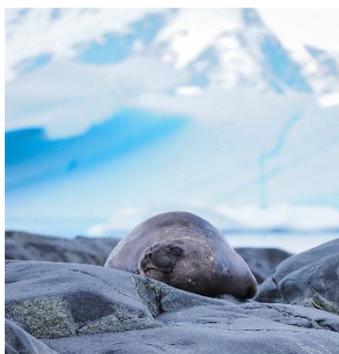


※地図はイメージです。

スケジュール

日次	月/日(曜)	日程	食事			宿泊
			朝	昼	夕	
1	12/7(月)	夜 東京発、空路、中東都市内へ				機中
2	12/8(火)	早朝 中東都市内到着後、乗り換えて				ブエノスアイレス
		午前 空路、ブエノスアイレスへ				
		夜 ※リオデジャネイロを経由 夜 プエノスアイレス到着 夜 専用車にてホテルへ 夜 ホテル到着後、チェックイン&宿泊				
3	12/9(水)	午前 専用車にてアエロパルケ空港へ				ウシュアイア
		午前 アエロパルケ空港へ	H			
		午後 ウシュアイア到着				
		午後 クォーク社の団体送迎バスでホテルへ 午後 ホテル到着後、チェックイン&宿泊				
4	12/10(木)	午後 南米最南端の休日をお楽しみください	H			船中
		午後 乗船&南極に向けて出航		○		
5	12/11(金)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
6	12/12(土)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
7	12/13(日)	終日 南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	○	船中
8	12/14(月)	終日 南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	○	船中
9	12/15(火)	終日 南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	○	船中
10	12/16(水)	終日 南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	○	船中
11	12/17(木)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
12	12/18(金)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	○	船中
13	12/19(土)	午前 ウシュアイア入港、下船				機中
		午前 団体送迎バスでウシュアイア空港へ				
		午後 アエロパルケ空港へ				
		午後 アエロパルケ空港到着	○			
		午後 専用車にてエセイサ空港へ 午後 エセイサ空港到着後、搭乗手続き 午後 空路、中東都市内へ 午後 ※リオデジャネイロを経由				
14	12/20(日)	中東都市内に向けて飛行				機中
15	12/21(月)	深夜 中東都市内到着後、乗り換えて				機中
		午前 空路、帰国の途へ 夜 東京到着後、解散、おつかれさまでした				

※食事欄の「○」は船内食及びレストラン食、「H」はホテルを表します。(機内食を除く)





■ 詳細日程

1日目 | 12月7日(月)

東京発→中東都市内へ

夕刻、東京(成田又は羽田)へ集合。
深夜、空路、中東都市内へ向かいます。

2日目 | 12月8日(火)

→中東都市内着/発→ブエノスアイレス着/泊

早朝、中東都市内に到着。乗り換えて、空路、リオデジャネイロ経由でブエノスアイレスへ向かいます。

夜、ブエノスアイレスに到着後、入国・通関手続き。終了後、専用車にてホテルへ。ホテル到着後、チェックイン&宿泊。明日のフライトに備えて、ごゆっくりとお休みください。

3日目 | 12月9日(水)

ブエノスアイレス発→ウシュアイア着/泊

午前、ホテルで朝食後、専用車にてブエノスアイレスのアエロバルケ空港へ移動します。アエロバルケ空港到着後、搭乗手続きを行い、空路、南米最南端のウシュアイアへ向かいます。

午後、ウシュアイア到着後、団体送迎バスでクォーク社指定ホテルへ向かいます。ホテル到着後、チェックイン&宿泊。

世界最南端の港町ウシュアイアは、パタゴニア地方や南極への旅の玄関口として、また交通の要所として栄えています。海と山に囲まれた美しいウシュアイアの町の散策をお楽しみください。手づくりチョコレートやアルゼンチンワインなどお土産も充実しています。

4日目 | 12月10日(木)

ウシュアイア出港

午前、ホテルで朝食後、南米最南端の町の散策をお楽しみください。

午後、乗船手続き。夕刻、いよいよ南極へ向けてウシュアイアを出港し、ビーグル水道を航行します。

ビーグル水道は、チャールズ・ダーウィンが世界周航したビーグル号に因んで名づけられたことでも有名です。私たちの船出を祝うかのように山裾に開けたウシュアイアの町が夕日を浴びて光り輝き、船尾には多くの海鳥が追いかけてきます。

5~6日目 | 12月11日(金)~12日(土)

ドレーク海峡横断クルーズ

天候の予測が難しいことで有名なドレーク海峡を横断します。ここでは刻々と天候や海象の状況が変化しますので備えが必要です。

船内では南極条約、南極訪問者のガイドライン、ゾディアック・ボートの利用方法や南極の野生生物、探検の歴史、南極の自然などのレクチャーが始まります。

7~10日目 | 12月13日(日)~16日(水)

サウスシェトランド諸島と南極半島観光

暖流と寒流がぶつかる肥沃な海域の南極収束線を越えると、地理的にも生物学的にも南極地域に入ったこととなります。やがて南極大陸が見えてくると、ついに地球最後の秘境へやってきた実感が湧いてくることでしょう。

この行程では1日平均2回、上陸観光やゾディアッククルージングを予定しています。入り組んだ氷河の湾部や氷山のひしめく水路などを探検、営巣地のおびただしい数のペンギンやアザラン、クジラなどとの出会いをお楽しみください。

南極半島には標高の高い山々が多く、最高地点は海拔2,800mほどあります。

オーンハーバーに停泊する際は雪道を辿り、360度、白銀のパノラマが広がる絶景ポイントへご案内いたします。また、この山の尾根はヒゲペンギンの巨大な営巣地となっています。もちろん、海岸線でかわいいペンギンを見ながらお客様のペースで見学していただくこともできます。

さらに「ポーラー・ブランジ」と呼ばれる「南極海飛び込み大会」も予定されています。笑いあふれる楽しい参加型イベントをお楽しみください。

ネコハーバーでは、ペンギンたちが氷河の裂け目で砂利を巻き上げながら、大騒ぎで小競り合いをしているさまをご覧いただけるかもしれません。

その他、壮大な氷河が印象的で風光明媚なパラダイス湾や、陥没した火山性カルデラの巨大湾部へと通じるデセプション島などを訪れる予定です。

また、かつてイギリス観測基地だったポートロックロイは、今では博物館兼郵便局に生まれ変わっており、お土産の購入や絵葉書を郵送することもできます。

バックアイス(流氷)や氷山に阻まれなければ、高くそびえる岩肌と氷河に挟まれた絶景のノイマイヤー海峡やルメル海峡の航行も予定しています。

航路によっては、ルメル海峡をさらに南へ航海してピーターマン島や、或いは南極半島の北側を回ってアイスバーグアレー(氷山小路)への探検航海をする場合もあります。ここは巨大なテーブル型氷山が北へ向かって漂流し、南極海峡へと流れ込む場所です。

天候と氷の状態が許せばポーレット島に上陸し、アデリーペンギンの巨大な営巣地を見学する場合もあります。乗船中はエクスペディション・チームによる野生生物の生態や南極の自然、探検の歴史などのプレゼンテーションも予定しています。

さらに各ポイントにおいてカヤックやキャンプなどのアドベンチャー・オプションもご用意しております。

11~12日目 | 12月17日(木)~18日(金)

ドレーク海峡横断クルーズ

南極大陸に別れを告げ、再びウシュアイアに向けて進路をとります。最後のプレゼンテーションではこの探検クルーズを振り返ります。

13日目 | 12月19日(土)

ウシュアイア入港/下船/発→ブエノスアイレス着/泊

朝、ウシュアイアに入港。朝食後、下船をして団体送迎バスでウシュアイア空港へ移動します。

午後、空路、ブエノスアイレスへ向かいます。ブエノスアイレス=アエロバルケ空港到着後、手荷物受取。専用車にてエセイサ空港へ移動。空港到着後、搭乗手続きを行いセキュリティチェックを通過します。

夜、空路、リオデジャネイロ経由で中東都市内へ向かいます。

14日目 | 12月20日(日)

→中東都市内へ

中東都市内に向けて飛行。

15日目 | 12月21日(月)

→中東都市内着/発→東京着/解散

深夜、中東都市内に到着。

午前、乗り換えて、空路、東京(成田or羽田)へ向かいます。

夜、東京到着後、入国・通関手続き。終了後、解散。おつかれさまでした。



(注) 上記日程内の南極訪問地はあくまでも参考となります。南極の気象、海象、氷などの厳しい自然環境のもとで寄港する場所が変更になる場合があります。予めご了承ください。

オーシャン・エクスプローラー

Ocean Explorer



極地探検のために特別設計されたモダンでエレガントな探検船。138名乗りの小型船体に最新の探検船技術を結集し、ULSTEIN X-BOW®(逆船首)により揺れを抑えた快適で安定した航海を実現します。船首には光あふれる2階建ての図書室を備え、開放感あふれる空間を演出。客室はスカンジナビアデザインを採用し、ほぼ全室にベランダを完備しています。ジムや大きな窓のあるサウナ、屋外ジャグジーなどの設備も充実。15隻のゾディアックを搭載し、迅速かつ安全な上陸探検が可能なほか、環境配慮型エンジンを採用するなど持続可能性にも配慮した先進的な探検船です。

シップデータ

- 就航年:2021年7月
- 航海速度(開水域):16.5ノット
- 乗組員&探検スタッフ:105名
- 全長:104.4m
- 喫水:5.3m
- 格納型フィンスタビライザー:1対
- 総トン数:8,228トン
- アイスクラス:1A(耐氷船)
- 乗客定員:138名
- 全幅:18.4m
- 船籍:ポルトガル



図書室/イメージ



メインダイニング/イメージ



レクチャールーム/イメージ



ラディテュードバー/イメージ



トリプルスイート/イメージ



ベランダスイート/イメージ

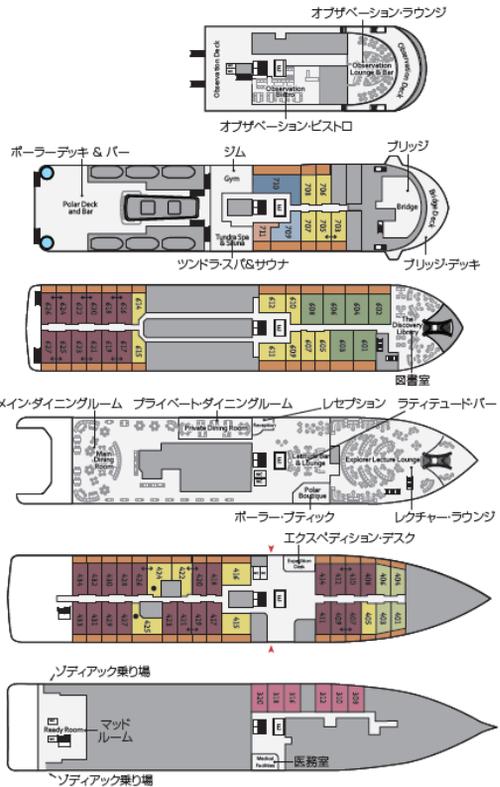


ペントハウススイート/イメージ

客室タイプ	客室の設備	広さ	デッキ
トリプルスイート	バルコニー、ツインベッド+シングルベッド、シャワー付	28㎡	6
ベランダスイート	バルコニー、ツインベッド、シャワー付	19㎡	4・6
ペントハウススイート	バルコニー、ツインベッド、リビングエリア、シャワー付	25㎡	7

ご旅行条件(抜粋) お申し込みの際には必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上、お申し込みください。

- **募集型企画旅行契約**
この旅行は、株式会社クルーズライフ(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しの旅行条件書(全文)、出発前にお渡しの確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行契約(募集型企画旅行契約の部)によります。
- **旅行のお申し込みと契約の成立時期**
当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、下記に記載した申込書添えてお申し込みください。申込金は旅行代金、取消料または違約金のそれぞれ一部または全部として取り扱います。電話、郵便、ファクシミリ及び電子メールその他の通信手段による旅行契約の予約申し込みを受け付けることがあります。この場合、予約の時点で契約は成立しております。当社が予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いを完了して頂きます。この期間内に申込書の提出と申込金の支払いがなされない場合、当社はお申し込みがなかったものとして取り扱います。旅行契約は当社が予約の承諾し申込書と申込金を受領した時に成立します。
- **旅行代金のお支払い**
旅行代金(又は申込金を差し引いた残金)は、旅行開始日の前日から起算して遡って120日目に当たる1日前にお支払い頂きます。
- **旅行代金に含まれるもの**
旅行日程に明示した航空(エコノミークラス)、船舶の運送機関の運賃・料金・宿泊料金(税・サービス料を含む)、送迎バス等の料金、観光料金(バス料金・ガイド料金・入場料を含む)、食料料金(税・サービス料を含む)、航空会社規定の手荷物運送料金、添乗員同行費用、団体行動中のチップ、防寒上着(バスタオル)、ゴム長靴レンタル。
※お客様のご都合により、旅行代金に含まれるものを一部利用されなくても払い戻しは致しません。
- **旅行代金に含まれないもの(左記の他は旅行代金に含まれません)**
一部を例示します。航空会社の規定を超えた超過手荷物料金、クリーニング代、電話料等個人的性質の諸費用、傷害・疾病に関する医療費、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、査証料、予防接種料金等)、日本国内における自宅から発着空港等集合・解散地までの交通費や宿泊費等、希望者のみが参加するオプションツアーの料金、日本の空港の空港施設使用料等、海外の空港・港の空港税・出入国税・港湾施設使用料、運送機関に課す付加運賃・料金(燃料油サーチャージなど)。
- **お客様による旅行契約の解除**
旅行契約成立後、お客様は下記に記載した取消料をお支払い頂くことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。但し、契約解除のお申し出は、お申し込みの旅行取扱店の営業時間内にお受けします。
- **旅程保証**
当社は別途定める契約内容のうち、重要な変更が生じた場合、旅行代金に一定の率を乗じた変更保証金をお支払いいたします。詳しくは別途交付する旅行条件書(全文)をご確認ください。
- **旅行条件・旅行代金の基準**
この旅行条件は2026年2月28日を基準としています。また、旅行代金は2026年2月28日現在の有効なものとして公示されている運賃規則を基準として算出しています。
- **その他**
当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。
- **個人情報の取り扱いについて**
(1) 株式会社クルーズライフ(以下「当社」)およびご旅行をお申込みいただいた受託旅行業者(以下「販売店」)は、旅行申込みの際にご提出頂いた個人情報はお客様との連絡や運送・宿泊機関等の手配のために利用させて頂くほか必要な範囲内で当該機関等へ提供します。
(2) 当社、販売店および当社が提携する企業が取り扱う商品、サービスに関する情報をお客様へ提供させて頂く場合があります。
(3) 当社は手配に必要な場合、お客様の医療情報等をお伺いし、運送機関等に提供いたします。お申込みいただく際には、これらの個人データの提供についてお客様に同意いただくものとします。



- トリプルスイート(6階)
- ベランダスイート(4・6階)
- ベランダステートルーム(4・6階)
- オーナーズスイート(7階)
- デラックスベランダ前方(4階)
- ペントハウススイート(7階)
- スタジオシングル(3階)

旅行企画・実施

クォーク・エクスぺディションズ社 日本地区正規代理店

株式会社クルーズライフ

観光庁長官登録旅行業第2054号
一般社団法人日本旅行業協会 正会員
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-7-20 元赤坂ウエスト5階
TEL: 03-6228-3981



ホームページはこちら⇒

クルーズライフ 検索

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行契約に関し、担当者からの説明に不明な点がございましたら、ご遠慮なく総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

(受託販売) お申し込み・お問い合わせ

※パンフレットの画像はすべてイメージです。